

環境教育「まず、今までできることから」

歴史に学ぶ



2017/11/13

環境省は本州や九州の沖合石ノ二ヶ島で、生態系への悪影響が懸念される微細なプラスチックの浮遊を確認したと発表した。瀬戸内海での過去の調査より浮遊量が多く海域も広いため、食物連鎖を通して人体に入り込む危険性が指摘されており、環境省は原因も含めて詳しく調べ対策を検討したいとしている。

大きさが五ミリ以下のプラスチックが海岸に流れ、紫外線で砕けて発生する。海中の有害物質を吸着し、海水に蓄積される可能性がある。



2017/11/19

三河湾、渥美灘の養殖の色落。アサリの生産低下に歯止め。下水処理水のり、濃度を上げる実験を行なう。通常は水質浄化のため抑制されといふ。環境基本法などに基づく規制値（1リットルあたり 4ミリigram）を下回る。「シトルあたり 0.4ミリigram」として抑されている。

水清めれば魚棲む」と故事成語にあるが、海水がきれいになると魚が生きやすくなること、海産物の栄養分は足りなくなる。特に今場は海水中のリンが減る（リンが増えるほど、光合成を促進し有明海などで効果が出ていく）。

主催 多知見環境部
エコアクション
会場 アスナル金山
金山総合駅連絡通路橋北口
TEL 0561-51-2878

十一月十八日、十九日
おあります。

フレッシュアート会場では、小学生を対象に小さな木人形に絵具で自分の夢を書き、色を塗って机の上に置いておくと夢が達成可能と言うことで、塗った品を寄せて贈ることで準備した物語が19日にはすべて残庫不在庫かなくななりました。達成したのではないかと思えております。

▲ フタバアオイをデザインしたすばらしい完成品。パズルになりましたのがたのしみである。

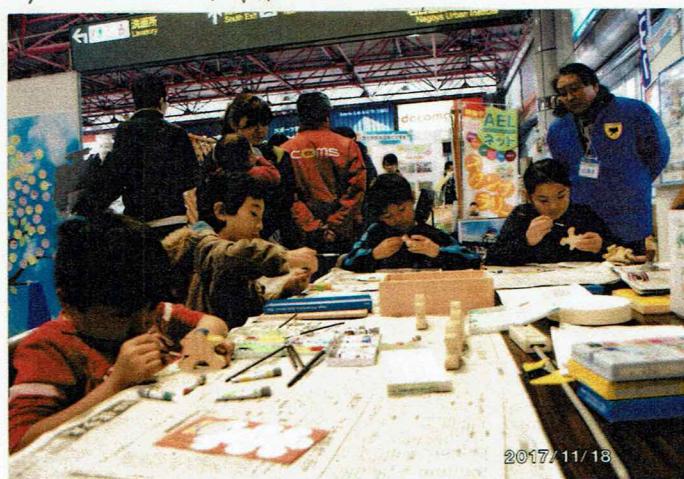


2017/11/18

△ 何でも好きなように絵具で塗りなど。

あるとして、実態把握が課題となそり。大きな潮流ごみを調べたところ、全体の約 56% がマイクロプラスチックになり得る石油化学製品だた。採取結果は決して無視できる量ではない。

▼ 木育、人形の形が気に入った人が多かった。



2017/11/18